

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|---|--|--|-----|--------|---------|
| 36103 | ファッションコーディネート演習 Fashion Coordination | 長谷川 えり子 | 専門 | 1 | 選択 | 1・2年 前期 |
| 科目の概要 | | | | | | |
| ファッションの概要をとらえ、スタイリストの仕事内容を知る。ファッションコーディネートの種類とテクニクを学び、専門的な知識・技能を修得することにより、これらを活用してコーディネート能力を養う。様々なファッションアイテムを通してバランス感覚を磨き、ファッションセンスを向上させる。なお、毎時間の授業の中でミラノ、パリ、ニューヨークコレクション鑑賞により、感性を磨く。ファッションを通して、自己の潜在能力の開発に繋げ、多くの人々に波及できるスタイリング提案を目指す。 | | | | | | |
| 学修内容 | | | 到達目標 | | | |
| ① ファッション業界におけるスタイリストについて概要をとらえる | | | ① 様々なスタイリストの役割と仕事内容を理解できる。 | | | |
| ② アイテムの種類とコーディネート方法について、カラー、素材、かたちの面からとらえ、着装を行う | | | ② ファッションアイテム種類と特徴を知り、コーディネート演習を通してバランス感覚を磨くことができる。 | | | |
| ③ 生活シーンに合わせたファッションコーディネートの実際について学修する | | | ③ 様々なファッションシーンに対して最適なファッションを提案することができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | ファッション情報を積極的にとらえ、街中、電車の中、TVなど様々なスタイルのコーディネートを観察する。 | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | |
| | 実行力 | 授業で学んだ内容を普段のファッションスタイルの中で活かし、実際に応用する。 | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 毎日のスタイリングの中で自分なりのこだわりを持ってコーディネートする | | | | |
| | 計画力 | | | | | |
| | 創造力 | 自分の好きなジャンルにこだわらず、様々な感性を表現するためのスタイリングに挑戦する。 | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 発表や課題に取り組む場合は、口頭だけでなく、相手に伝わりやすいように図、写真などを加え、工夫して発表する | | | | |
| | 傾聴力 | 課題発表会では、他者の発表をしっかりと聞き、評価できる点を見出す | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | |
| | 規律性 | 提出物は期限を守る。課題発表会では、制限時間を守る。 | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | |
| テキスト: 毎時間プリントを配布する 参考文献: なし | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | |
| 他科目との関連: なし 資格との関連: なし | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | 受講生とのルール | | | |
| 普段からファッションに関心を持ち、ファッション雑誌、インターネットなどによりファッション情報に触れるように心がけよう。また、ファッション販売の現場にも足を運び、ショーウィンドウのディスプレイやショップの商品構成を観察しよう。 | | | 演習授業であるので、欠席しないこと。 | | | |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|------------------|-------|------|---|--|
| 筆記試験 | | | | |
| 小テスト | | | | |
| レポート | | | | |
| 成果発表 (口頭・実技) | 40 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> 制作した課題に説明を加えて成果発表する。 全体構成に加え、トレンド感、オリジナリティを加味して評価する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | | |
| | | ⑤ | | |
| 作品 | 30 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> コーディネート提案マップを制作する。 各自のテーマをもとに、トレンド性、マップ構成など最適なファッション提案ができているかを評価する。 マップは講評会で良い点を評価し、教員の評価コメントを加えて返却する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | | |
| | | ⑤ | | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> (主体性)ファッション情報を積極的にとらえ、活かされているかを作品で評価する。 (実行力)ファッション動向を捉えているか、作成マップで確認する。 (課題発見力)目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができたか課題で確認する。 (創造力)様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できたを提案マップにより評価する。 (発信力)課題発表会では自分の意見をわかりやすく伝えることができたか、発表内容より評価する (傾聴力)課題発表会では、他者の発表をしっかりと聞くことができたか、報告書より評価する (規律性)提出物の期限を守ることができたか |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | | |
| | | ⑤ | | |
| その他 | 20 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> 配布プリントはわかりやすくまとめる 配色カード、配布資料は丁寧に貼付する 提出したファイル(プリント)は、評価を加えて返却する。 |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | ✓ | |
| | | ④ | | |
| | | ⑤ | | |
| 総合評価 割合 | 100 | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| <p>A:ファッションアイテムの種類と特徴を理解し、シーンに合わせてファッション性の高いトータルコーディネートが提案できる。</p> <p>S:上記に加えて、トレンドを反映した最適な提案ができる。また、積極的に課題に取り組み、多くの学生から評価の高い発表ができる。</p> | <p>B:ファッションアイテムの種類と特徴を理解し、ファッションシーンに合ったトータルコーディネートが提案できる。</p> <p>C:上記の基準に対して、課題や実習に対して、提出物の不備、消極的な取組みが見られる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法及びフィードバック方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|---|--|--|---|-------|--------------|
| 1週 / | ファッションの概要をとらえ、スタイリストの役割について学修する | 講義と質疑応答 | 本授業についての取り組みを理解し、ファッションスタイリストの役割を把握できる。 | (復習) 活躍するスタイリストの状況を調べることができる。 | 40 | 傾聴力 創造力 |
| 2週 / | ファッションアイテムの商品知識① トップスアイテムについて種類と形の特徴を解説する | 講義と質疑応答 PPにより説明し、視覚的に内容を捉える。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。 | シャツ、ブラウス、ジャケットなどの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。 | (予習) ワードローブの中でトップスの種類を見る。 (復習) プリントを整理し、自分のワードローブを見直す。 | 60 | 傾聴力 主体性 |
| 3週 / | ファッションアイテムの商品知識② ボトムスアイテムについて種類と形の特徴を解説する | 講義と質疑応答 PPにより説明し、視覚的に内容を捉える。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。 | スカート、パンツ、ワンピースなどの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。 | (予習) ワードローブの中でボトムスの種類を見る。 (復習) プリントを整理し、自分のワードローブを見直す。 | 60 | 傾聴力 主体性 |
| 4週 / | ファッションアイテムの商品知識③ 小物アイテムについて種類と形の特徴を解説する | 講義と質疑応答 PPにより説明し、視覚的に内容を捉える。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。 | アクセサリ、バッグ、靴、帽子などの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。 | (予習) 手持ちの小物の種類を見る。 (復習) プリントを整理し、自分の小物を見直す。 | 60 | 傾聴力 主体性 |
| 5週 / | カラーコーディネート演習① 配色カードを使用して、色彩調和理論によるコーディネートを実習する 準備-配色カード、紙切り鋏、のり | 演習 PPにより概要説明後にカラーコーディネート方法に合わせて実習する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。 | カラー情報について、配色テクニックとコーディネート方法の特徴を知り、プリントにまとめることができる。 | (予習) カラーを中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日したスタイルの着装のカラー展開をまとめる。 | 60 | 発信力 実行力 |
| 6週 / | カラーコーディネート演習② 前回学修したコーディネート例について、実際のコレクションスタイルから抽出する | 演習 PPにより概要説明後コレクション情報からコーディネートスタイルを検索する。表にまとめ、提出後フィードバックする。 | カラーコーディネートスタイルを理解し、コレクション情報から検索することができる。 | (予習) カラーを中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日したスタイルの着装のカラー展開をまとめる。 | 60 | 発信力 課題発見力 |
| 7週 / | マテリアルコーディネート演習 実際の布地を使用して、素材の組み合わせによる調和を実習する 準備-はさみ、のり | 演習 PPにより概要説明後に素材毎に実習する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。 | 素材情報について、種類と分類、組み合わせ方法をプリントにまとめることができる。 | (予習) 素材を中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日したスタイルの着装の素材の特徴をまとめる。 | 60 | 発信力 主体性 |
| 8週 / | ファッションイメージコーディネート演習 8つのイメージ特性をとらえ、イメージに合ったスタイルを学修する | 演習 PPにより概要説明後、ファッションイメージに合ったスタイル収集する。プリントをまとめ、提出後フィードバックする。 | ファッションイメージの分類を理解し、それぞれのイメージに合ったスタイルを提案できる。 | (予習) 自分の好きなイメージに合ったスタイルを着装する。 (復習) イメージとスタイルの特徴をまとめる。 | 60 | 発信力 創造力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法及びフィードバック方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|--|--|---|--|-------|--------------------------|
| 9週 / | ファッションアクセサリコーディネート演習 アクセサリの種類を知り、アイテムに合わせたコーディネートを実習する | 演習 アクセサリの概要を捉え、ファッションに合わせてコーディネート演習する。プリントをまとめ、提出後、フィードバックする。 | アクセサリの種類を知り、スタイルに合わせた活用方法を提案できる。 | (予習)本日のスタイルに合ったアクセサリをコーディネートする。 (復習)手持ちのアクセサリとスタイル検討する。 | 60 | 発信力 創造力 |
| 10週 / | アイテムのコーディネート 様々なアイテムのコーディネートについて、スタイリングの基本を実習する | 演習 アイテム別にコーディネートの手法を説明し、バランス感覚を磨く | ファッションアイテムの基本的なバランスのとり方について把握できる。 | (予習)本日のスタイルのこだわりを考える。 (復習)ワードローブの中から新しいコーディネートを検討する。 | 60 | 発信力 創造力 |
| 11週 / | 和服のコーディネート演習① 和服の種類と小物の名称を学修する | 演習 和服のたたみ方や取り扱いについて実習 | 和服の構造を知り、小物を含めた名称を理解できる。 | (予習)浴衣の着装写真を観察する。 (復習)浴衣のたたみ方をまとめ、再度たたむ。 | 40 | 傾聴力 主体性 |
| 12週 / | 和服のコーディネート演習② 和服の畳み方と浴衣の着付けを実習する | 演習 教員のデモを見て、実際に浴衣を着装する。着装記録をまとめ、提出後にフィードバックする。 | 浴衣の着装を習得し、着付けを通して、正しい着装ができる。 | (予習)浴衣の帯結びの種類を調べる。 (復習)浴衣の着装を繰り返す。 | 60 | 傾聴力 主体性 実行力 |
| 13週 / | ファッションスタイルの提案演習 旅行をテーマにしたコーディネートの提案を行う TPOに合わせて、計画を立案し、情報を収集する | 演習 課題説明後、テーマにそって、コーディネート計画を立て、情報を収集する。 | テーマを設定し、情報を収集することができる | (予習)トレンドファッションを捉える。 (復習)テーマに合わせたスタイルを収集する。 | 40 | 課題発見力 創造力 実行力 |
| 14週 / | ファッションスタイルの提案演習 課題発表のためのプレゼンテーションの準備 | 演習 収集した情報をもとに各自、コーディネート提案のPPを作成する | ライフスタイルのシーンに合わせたスタイルと一般的なコーディネート方法を理解できる。 | (予習)通学のためのトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習)シーンに合わせた着装の特徴をまとめる。 | 100 | 発信力 主体性 創造力 実行力 |
| 15週 / | ファッションスタイルの提案発表 制作したコーディネート提案を発表する。また、他の発表の評価も行う。 | 演習 制作したファッションスタイル提案を発表し、評価する。まとめのプリントは点検後、フィードバックする。 | 提案を発表し、他の作品を評価できる。 | (予習)発表のための原稿作成などの準備を行う。 | 100 | 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力